

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合演習6⑦							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
鍼灸学科・昼間部	3年	4期	大橋 理那				
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数		
専門分野	総合領域		座学	1	10		
科目概要							
鍼灸師として必要な疾患の知識を定着させ、鑑別ができる応用力を身につけるため、1、2年次に学んだ専門基礎・専門分野を中心として、教科を横断した学習を行う。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	鍼灸師として患者の異常な状態を評価・鑑別できるようになるために、西洋医学的な知識を深め、人体の正常な構造と機能と異常な状態とを複合的に学習し、知識の定着と応用力を身につける。						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1.病気の考え方について選択肢を提示されたら正解肢を選び出せる。 2.循環障害について選択肢を提示されたら正解肢を選び出せる。 3.退行性・進行性病変について選択肢を提示されたら正解肢を選び出せる。 4.炎症と腫瘍について選択肢を提示されたら正解肢を選び出せる。 5.免疫異常とアレルギー疾患について選択肢を提示されたら正解肢を選び出せる。 6.先天性疾患について選択肢を提示されたら正解肢を選び出せる。					
履修に必要な予備知識や技能							
病理学・生理学・解剖学・臨床医学各論・臨床医学総論							
教科書・参考書							
・教科書:東洋療法学校協会編 病理学概論 第2版							
受講上の注意							
本講義に必要な知識は既に1,2年次に学んでいます。わからないことがあればそのままにせず、まず自分で考え、調べ、理解する姿勢で取り組みましょう。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	科目の概要 病理学とは			病理学概論 p3-26	教科書・筆記用具		
第2回	循環障害			病理学概論 p27-38	教科書・筆記用具		
第3回	退行性病変			病理学概論 p39-48	教科書・筆記用具		
第4回	進行性病変			病理学概論 p49-58	教科書・筆記用具		
第5回	炎症			病理学概論 p59-69	教科書・筆記用具		
第6回	腫瘍			病理学概論 p70-90	教科書・筆記用具		
第7回	免疫異常・アレルギー			病理学概論 p91-98	教科書・筆記用具		
第8回	先天性異常			病理学概論 p99-108	教科書・筆記用具		
第9回	病理学の総復習と問題演習			病理学概論 p1-108	教科書・筆記用具		
第10回	定期試験				筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
ohashi@nihonisen.ac.jp							